

経済安全保障重要技術育成プログラムの中間評価結果
船舶向け通信衛星コンステレーションによる海洋状況把握技術の開発・実証

① 事業テーマ名
海洋 DX 推進・海洋状況把握に向けた超小型衛星コンステレーションシステムの開発
② 事業者名
株式会社 IHI（代表機関）、株式会社アークエッジ・スペース、LocationMind 株式会社
③ K プロ運用・評価指針の視点
<ul style="list-style-type: none">研究開発ビジョンの達成及び研究開発構想の実現に向けた研究開発課題の達成目標や内容の妥当性研究開発課題の達成目標に向けた進捗状況（国内外とも比較）及び今後の見通し（含む、多様な分野における活用の実現可能性）研究開発課題における実施体制の構築状況研究資金の効果的・効率的な活用国民との科学・技術対話に関する取組意見交換会において合意された内容の進捗状況
④ 研究開発構想に定める達成目標
2024 年度までに重要要素技術の地上実証を終えること。 ただし、電波発信源の位置特定アルゴリズム等は、2024 年度以降も宇宙実証の成果をフィードバックし性能向上のための研究開発を可能とする。 （これら重要要素技術は、2025 年度以降に打ち上げる VDES 衛星、地上局及びデータプラットフォームのサブシステム、コンポーネントに実装されるものとする。）
⑤ 総合評価
B（評価基準を達成している）
⑥ 総合コメント
技術開発は着実な進捗が認められる。本システムの事業化を確実にするため、技術的なベンチマーキングを継続的に行いつつ、ビジネスの観点から優位性の確保と標準化戦略の検討に一層注力する必要がある。